

# 家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所  
飯伊家畜畜産物衛生指導協会  
TEL : 0265-53-0439、0440  
FAX : 0265-53-0441  
E-mail: iidakachiku@pref.nagano.lg.jp  
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

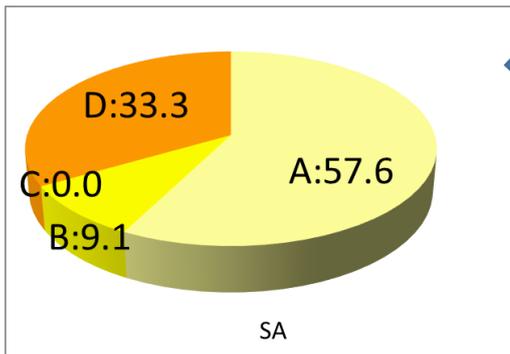
R3(2021)12.8発行 2021\_No.9

## 酪農生産性向上対策事業による 第2回 バルク乳検査の結果についてお知らせします

評価 A : 正常/目標 B : やや多い C : 多い D : 非常に多い  
グラフ内の数字は管内検査戸数 (33戸) のうち、A~D評価の戸数の割合 (%)

自分のバルク乳は  
どのランクに  
入っていますか？

### ★黄色ブドウ球菌 (SA)

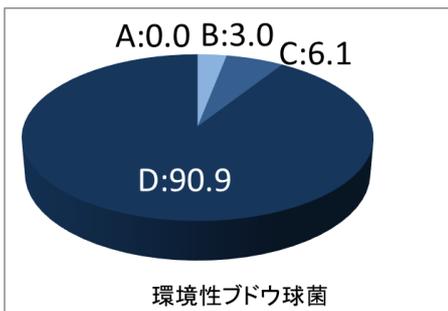


SA が 4 割以上 の農場で検出されました。

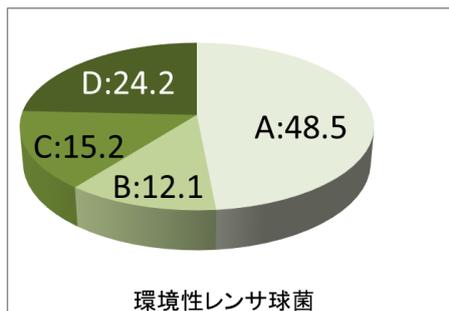
SA は 検出されないこと(評価 A) が重要です。

SA 感染牛の特定など、対応については当所にご相談下さい。

### ★環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌



環境性ブドウ球菌

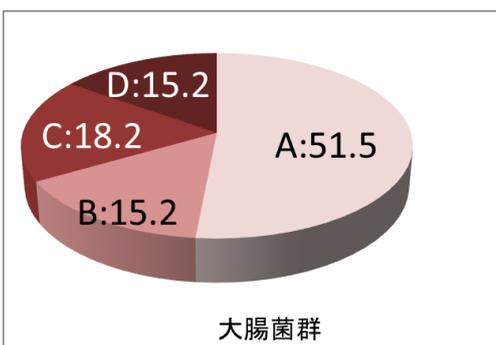


環境性レンサ球菌

これらの菌は、搾乳作業や飼養環境の衛生状態の指標となります。

バルク乳の体細胞数が多い場合にはこれらの菌による乳房炎牛の存在も疑われます。

### ★大腸菌群

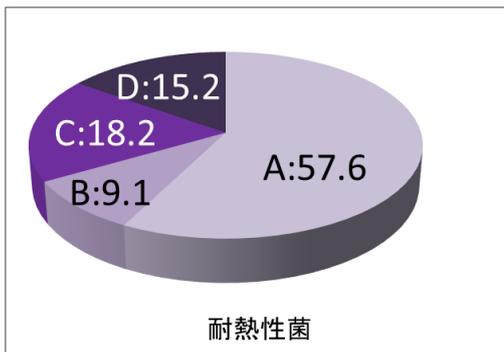


大腸菌群

大腸菌群が多数分離される場合、搾乳中に糞便などを誤って吸引していたり、搾乳機器の洗浄殺菌に問題があったりします。

菌数の多い農場は、搾乳手技や搾乳機器の衛生管理を確認しましょう。

## ★耐熱性菌



耐熱性菌は搾乳機器の洗浄・殺菌状態の良し悪しを反映します。

検出された農場は搾乳機器の洗浄手順を再確認しましょう。

★無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ検査及び牛ウイルス性下痢ウイルス検査は、全戸陰性でした。

### ◎ SA 対策について

第一回（6月）より減少したものの、全体の約40%の農場でSAが検出されました。

農場内で広げず、SAに感染していない牛がこの先も良い乳を出せるよう、対策を再確認してみましょう。

- ✓ SA感染牛、感染分房の特定
- ✓ 搾乳順序の変更（陽性牛は最後に搾ります）
- ✓ 乾乳期治療、分娩後の検査
- ✓ PLテスターでの確認

体細胞数がケタ違いに上昇するため、検査を実施しました！

### ◎ ストレプトコッカス・ウベリスについて

管内検査戸数（33戸）のうち、7戸（前回は3戸）でストレプトコッカス・ウベリスが検出されました。

ストレプトコッカス・ウベリスは「環境性レンサ球菌」の1つで、乳腺細胞内に寄生するため、慢性化しやすく、治療日数をかけても完治しにくい乳房炎を引き起こします。感染牛の特定など、対応については当所にご相談ください。



搾乳衛生・管理等のご相談はお気軽に！

連絡先 飯田家畜保健衛生所 保健衛生課

Tel 0265-53-0440 Fax 0265-53-0441